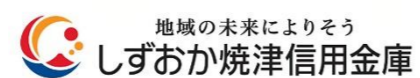




大学生にお勧めの活動

SDGsの4番のような、小中学生の居場所の作る活動がおすすめです。
 子供にとって大学生とは大人より身近な存在で、お話がしやすいです。
 学生の話聞いて、自分の進路が変わる子供もいます。
 他の大学との交流にもなり、子供とかかわることで、また身近に貧困の問題があることを身をもって知ることができるので、いろいろなことを学べます。
 その年ごとに学習支援の活動と生活支援の活動、それぞれ大体15名ずつ、毎年三十名くらいの大学生が参加しています。

静岡県立大学 ×



令和3年度 SDGs 学生インタビュー企画

社会福祉法人天心会
 特別養護老人ホーム
 竜爪園とSDGs





しずおか焼津信用金庫
キャラクター
「たねココ」

お年寄りから 子供・若者まで助ける

竜爪園では、子供の生活・学習支援や不登校の子の居場所づくりなどを行っています。
また、若者の就労支援や、就労体験としてのボランティア斡旋もあります。
このように、お年寄りだけでなく、地域の子供や若者にまで寄り添っています。

法人として必要な無償のSDG s

職員にはSDG s ロゴマークのバッジを配り、SDG s の啓発を進めています。
具体的な活動例としては、
・生ごみから作った肥料
・野菜の栽培
・海を綺麗にするためにマイボトル持参があります。

グッジョブ&サンクスカード

竜爪園は、職員に寄り添う形も忘れません。
この制度では、普段面と向かって言えない相手への感謝や美点を書き、まとめて掲示しています。



一人一人に寄り添うかたち

竜爪園の基本方針に「『個人の尊厳の保持』を基調とした自立支援、生活の質の向上を目指し、『利用者のため』の支援サービスに努めます」とあります。
特別養護老人ホームに来られる方はなかなか自宅で過ごすことができません。今まで住んでいた状況なるべく継続できるように、入所されるときにお話をお聞きします。
これまでの生活リズムが継続できるように、朝はいつも食べてなかった方には無理に起こして食べていただくことは避けたり、お部屋で使っていた大事なものを一緒に持ってきていただくなど、一人一人に寄り添った支援をしています。
部屋にお仏壇、位牌があるような方、使い慣れたお布団を持ってこられる方、家で使っていた食器やご飯茶碗、湯飲みを持ってこられる方もいらっしゃいます。
また、SDG s の活動においても、本来の仕事においても一人一人に寄り添う体制となっています。



コロナウイルスによる変化

児童の居場所づくりの活動の場や、お年寄りの方の外出、対面での面会も制限されてしまいました。職員の方の仕事にも影響が出ています。
しかし、コロナに負けないように食事は持ち帰り制にする、オンラインでの面会、一緒に仕事を探すとといった対策を練っています。

